

原子力空母の交代を問う 市民アクション 2015.4~9

①リーフレット市内全戸配布 (125,000部)



②意見交換会 (市内5カ所)



③市民アンケート (総数12,059通)



カンパを寄せていただいた方、地域集会にご協力いただいた横須賀市市民安全部、アンケートの収集・回答にご協力いただいた皆様にあらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。

リーフレットの全戸配布、延べ214名にご参加いただいた5回の地域集会、市内全駅計70回以上の駅頭活動を行った市民アンケート、横須賀に暮らす皆さんの様々なご意見を伺うことができました。

この報告書を読んでいただき、賛否に関わらず「原子力空母の交代」について、更なるご意見をお待ちしています。

「成功させる会」は
市民アンケートの結果をふまえ
3つの提言をまとめ、
横須賀市、外務省、アメリカ大使館へ
申し入れました。

- 1 原子力空母に関する情報の少なさが浮き彫りになりました。とりわけ米海軍による情報公開、市民向け説明会の開催を求めます。
- 2 安全対策に関して、厳しい評価が下されました。原子力空母の配備に関して、日米政府、横須賀市の責任で、より確かな安全対策を。
- 3 アンケートに示された民意を受け入れ、原子力空母配備の是非について、横須賀市は住民投票も視野に入れた検討を、今すぐ開始してください。

提言はオバマ大統領、米海軍にも提出しました。上記提言は要約です。

市民アンケート・市民版パブリックコメントの意義と展開 市民の多様な思いと議会へのバトンタッチ

松下啓一 相模女子大学教授(現代自治体論)

今回の市民アンケート・市民版パブリックコメントでは、市民の多様な思いが明らかになりました。これをいわばPI(パブリックインボルブメント)のひとつとして位置づけ、できることから市民の不安を解消する道筋をつけていくのは、議会・議員の役割です。

議会・議員の強みは、多様な価値を体現していることと「熟議」ができることです。多様な視点・考え方を出し合い、そのなかで、よりベターな決着点を見つけていくことができます。そのプロセスを市民に常に見せながら、市民にも理解できるような議論をしてほしいと思います。

原子力空母の問題は、やや大げさに言えば、市民一人ひとりの覚悟が問われる課題なので、市民がよく理解し、市民一人ひとりが自分の考えを持つことが大事であるという観点を常に忘れずに、熟議を行ってほしいと思います。まさに横須賀における「民主主義の学校」の実践を期待しています。

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

〒238-0008 神奈川県横須賀市大滝町1-26 清水ビル3階 横須賀市民法律事務所
電話:046-827-2713 FAX:046-827-2731
郵便振込 00200-6-80423 住民投票を成功させる会

2015.10.1 原子力空母 ロナルド・レーガン 横須賀配備



原子力空母交代の 是非を問う

10,000人 市民アンケート 報告書

これが市民の答えです。

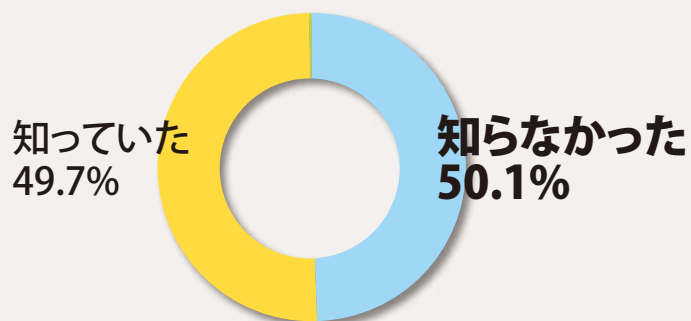


2015.11.10作成

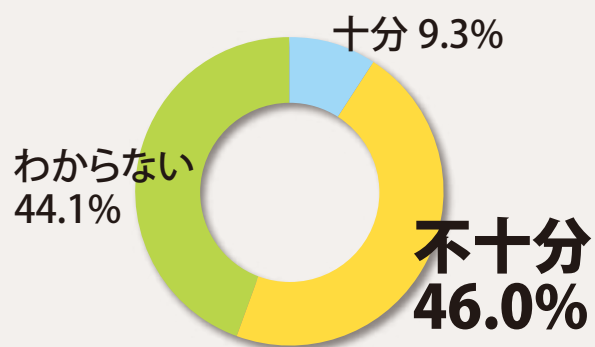
原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

●10月1日、ジョージ・ワシントンに代わって、2隻目の原子力空母ロナルド・レーガンが横須賀基地に配備されました。これに先立ち「原子力空母の母港化の是非を問う住民投票を成功させる会」では、5月から4ヶ月をかけて「原子力空母交代の是非を問う一万人市民アンケート」を実施しました。アンケートの回答は12,059通。4,237件の記入意見も頂くことができました。

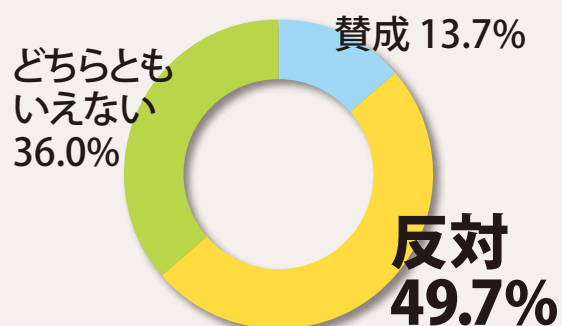
Q1・原子力空母の交代を知っていますか。



Q2・原子力空母の安全対策をどう思いますか。



Q3・横須賀に原子力空母が配備されていることは。



- 原子力空母の母港がすでに7年経過していますが、今なお多くの市民は不安を感じ、配備に否定的であることがわかりました。
- 安全対策に関しても、「十分」と答えた市民は9.3%。半数近くが「不十分」と答えました。
- 「成功させる会」では、アンケートの結果をうけて、3項目の提言を横須賀市、日米両政府に提出しました。

4,237件の市民版パブリックコメント

「10,000人市民アンケート」の問4・意見記入は4,237通に及びました。横須賀市は原子力空母の交代に関して、1回の説明会も開催せず、パブリックコメントも求めています。そこで4,237通の意見を「市民版パブリックコメント」として読むために、傾向を15項目に分類しました。基地を抱える横須賀市民の、多様な思いがここに表れています。

最も多かった意見は「原子力に不安」(1,884件)、次に多かった意見は「もっと情報提供を」(341件)でした。

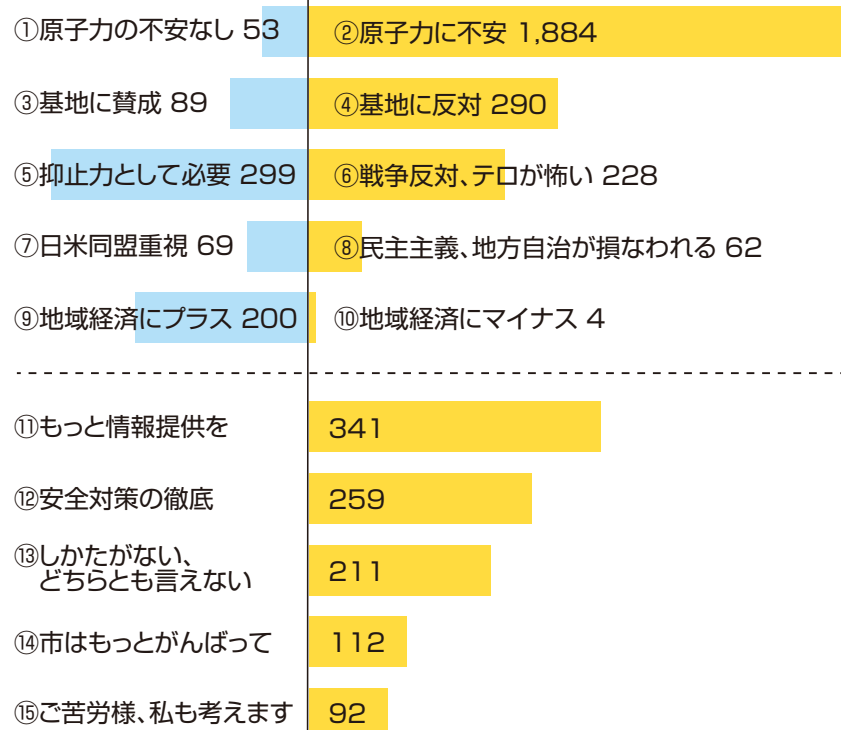


Q4 原子力空母に関するご意見をご記入ください。

記入意見総数:4,237件

(意見の傾向を見るために15項目に分類しました)

アンケートの分析の詳細は下記のサイトでご覧いただけます。
 ◆報告書(市・国へ提出): http://cvn.jp.org/pdf/150917anq_houkoku.pdf
 ◆市民版パブリックコメント(4,237の意見): http://cvn.jp.org/pdf/150916anq_goiken.pdf



No.	内 容	件数	%
①	原発より安全、原潜も入っている	53	1.2
②	原子力は危険、事故が怖い、心配はある	1,884	40.9
③	米軍基地に賛成、基地があるから、何をしても変わらない	89	1.9
④	米軍基地に反対、できるならないほうがいい	290	6.3
⑤	抑止力として必要	299	6.5
⑥	戦争反対(テロが怖い、平和が大切)	227	4.9
⑦	日米同盟重視	69	1.5
⑧	民主主義、地方自治が損なわれる	62	1.3
⑨	地域経済活性化にプラス、基地で働いている人もいる	200	4.3
⑩	地域経済にマイナス	4	0.1
⑪	もっと情報提供を	341	7.4
⑫	安全対策の徹底	259	5.6
⑬	しかたがない、何をしても変わらない、いろいろ考えてどちらともいえない	211	4.6
⑭	市はもっとがんばって	112	2.4
⑮	ご苦労様、がんばってください、私も考えます	92	2.0

コメント

記入意見の41%、1,884件が②「原子力に不安」でした。「配備について」の問いに「賛成」と答えた中にも、23件の「原子力に不安」がありました。次に多かったのが⑪の「もっと情報提供を」(7.4%)。地域経済の分類では⑨「プラス」が圧倒的に多かったですが、そのなかには、基地で働く皆さんへの配慮を示す意見が71件ありました。市への期待は全体の2.4%でした。

分類しきれない「その他」が410件(8.9%)ありました。複数の項目に分類された意見があり、分類後の意見総数は4,602件です。